

# ブナ の森はみどりの ダム

会報 第24号

2018年5月



植樹祭風景



〈会員を募集しています〉

湯沢みどりの会は、環境保全の取り組みを、次代へつなげていくことが大切と考えます。

そのためには、多くの会員が必要であり、随時会員募集をしています。参加希望の方は事務局（025-787-3361）までご一報下さい。

きれいなふるさとを  
未来の子どものために

NPO法人  
湯沢みどりの会

## — 誓 い —

湯沢町は日本有数の自然が美しい町です。冬には雪化粧をした山々に囲まれ、町内をイワナやヤマメが踊る清冽な川が流れ、春には目がさめるような新緑と桜が私達を迎えてくれます。そして桜並木から風によって桜吹雪が舞うころ、いたるところに湧き出る温泉が私達の疲れた身体を癒やしてくれます。

ブナの木があります、ブナ林があります。私達は学びました。この美しい自然をささえているブナ達、環境保全にやさしくつくすブナの働き、これまで毎年植樹をしてブナを誕生させてきました。これからは同時に育てる頃合いになってきました。ブナの木々が育つかぎり、自然がやさしく保たれ、この町は、この地域はいつまでも輝き続けることができるでしょう。

私達はもうひとがんばりします。皆様と共に。

湯沢みどりの会



国際情報高校の皆様、いつもありがとうございます。  
皆様の若くたくましい腕で植えられるブナの赤ちゃん達、きつと喜んでいてしょうね。  
「僕たちも強く元気に育ちます」と言っているようです。  
これからもやさしく見守ってください。次は皆様の感想文です。



### 生徒とともに味わった

### 充実感

国際情報高校教頭 関口和之

植樹会3回目の今回は、国際情報高校の25・26期生たちと一緒に参加しました。昨年は女子生徒ばかりでしたが、今年は男子生徒も多く参加してくれて良かったです。

生徒たちが、慣れない唐鍬に四苦八苦しながらも、精力的に植樹していく姿を見て、負けてはいられないと私力が入りました。今年も天候に恵まれ、熱中症の心配がいらぬような気温の中で作業することができたので良かったです。そのためか、

予定していた幼木をアツという間に植樹し終えたような気がします。充実した時間を過ごすことができました。

植樹後に、湯沢みどりの会の皆様からもてなしていただいたおいしい豚汁を、生徒たちは何杯もおかわりをさせてもらい、満喫していました。

私の地元にあるブナ林は、大きく成長したブナの木ばかりです。昨年ボランティアを募って、保全のための手入れをしていましたが、幼木の植樹などは行っていません。

私は、湯沢みどりの会の皆さんを見習って、地元のブナ林を広げたいと考えています。そのため



も、今後も植樹会に参加させていただき、ノウハウを学びたいと思いますので、よろしく願います。  
生徒共々貴重な体験をさせていただき、感謝申し上げます。

## 植樹を振り返って

2年生 小野塚 里緒

植樹会には昨年も参加させていただきましたが、その時に、すごく楽しかったという印象があり、友だちを誘って今年も参加しました。

湯沢駅に集合し車で移動しましたが、その途中で小鳥のさえずりのCDが流れていて、植樹の山中に入っ



りました。

自然に触れる機会というのは中々ないため、この植樹というのは私にとってすごく新鮮です。山の新鮮な空気を全身で感じながら植樹をしていると、すごく清々しい気持ちになりました。慣れない道具を使って土を掘り起こすのは、普段は使わない筋肉を使うのでとても疲れる作業です。ですが、それ以上に全てを植えた後の達成感は大いいもので、参加して良かったと思いました。

昨年植えたブナの木が、少しだけ大きくなっていったように、今年も自分が携わったブナの木が成長してくれることがとても楽しみです。来年は受験を控えるためにこの植樹会に参加できないことが、とても残念です。でも、大学生になったら一緒に参加した友だちを誘って、ブナの木がどんな風に成長したか見に来たいと思っています。

## 植樹で感じたこと

2年生 根津 穂乃香

私は今年で2回目ということで、張り切って参加しました。しかし、一年間全くお会いしていません。方々と会うとなると、緊張感があり最初の方はずっと気が張っています。



た。そんな私に、「根津さんだよね？」と声を掛けてくださる人がいて、緊張がスッと解けました。

昨年は、3人で参加したのですが、1人の友だちが体調不良で参加できずに残念でしたが、私たちのことを覚えていてくれ嬉しく思いました。

昨年教えてもらった植樹の方法はすっかり忘れていましたが、今年もまた丁寧に指導してもらいました。こつした雰囲気、植樹を通して温かい人と人の出会いに繋がるのだなと思えました。これからも出会いの気持ちを大切にしていきたいと思えます。この植樹会を、これからも楽しみにしたいと思います。

## 初めて植樹を経験して

2年生 関 悠理

「植樹」と聞いて真先に連想したのは、ワンガリ・マータイさんのグリーンベルト運動だった。茶色の荒れ地に緑の若木を植えて、砂漠化の進行を食い止める。植樹に対しては、そんなイメージを持っていた私は、どうして自然豊かな山にわざわざ木を植えなくてはいけないのだろうか、と疑問に思った。

聞くと、治水に優れるブナの木を植えることで、自然環境はもちろん、植樹の運動を続けていくことによつて、森林の大切さを次世代に伝えていくことも理由らしい。私自身は、植樹体験が初めてで、教科書やTVの中での記述や映像に過ぎなかった今回、実際に植樹をすることでその大切さを実感できた。

参加者の顔触れが、一般の方々に始め大学生や以前KJに勤務していた先生方までも集まっていたことに驚いた。

いよいよ植樹になると、唐鍬と手にした想像とは違う束になった頼りなさげなブナの木。これが目の前に生えるブナの林に成長すると、自然の生命力は神秘的であると

思った。

「土を掘って根を入れて埋める」  
そうした簡単な作業かと思ったが、  
実際はそう甘くはなかった。笹や他  
の木々の根が張る斜面の固い土を掘  
るには、力とテクニックが必要で  
あった。汗が流れる作業であったが、  
自分の性に合っているように感じた。  
慣れない作業で、終わったときには  
肩で息するような疲れ具合であった。  
区内に植えられた小さな苗木を  
見ると、「一人の力って凄いな！」と  
感心した。

一人では到底できそうにない植樹  
も、大勢が集まれば大きな力になる。  
「アツと言つ間」を考えると、チェ  
ンソーなど人間の作りだした機械力  
にかかれば、一瞬で森林は切り倒さ  
れてしまう。が、人間は、何十年、  
何百年、何千年と森林を守ってきた  
存在でもある。人間が存在する限り、  
自然も存在することになる。ささや  
かであるが、小さな積み重ねが大切  
でその一員になれたような気がした。

## 植樹ボランティアの決意

2年生 南雲和奏

湯沢町の山の中で、立派なブナ林  
を眺めながら植樹をしてきました。  
私が植えたブナの苗木が大自然の一



部になるかと思うと、何か感慨深い  
ものがありました。大自然の美しさ  
は、小さな命が一つ一つ集まったも  
のである、と学んできました。歪な  
形の樹でも、足元の小さなスミシで  
も、自然の美しさを作り出す大切な  
命の一つなんだな、と思いました。

小さな存在かもしれない自分自身  
を考えたとき、私は何の一部になれ  
るのかと思いましたが、それは、「人  
間社会」だと気付きました。「人間  
社会」は、様々な人たちが構成さ  
れています。私の存在も、今回植え  
た苗木と同じかも知れないし、壮大  
な自然の一部かも知れない、と実感  
しました。苗木が、自然災害に負け  
ることなく大きく育ってほしいと願



い、私も大きな社会の中で、辛いこ  
とや困難に負けることなく成長した  
いと思えました。

日々の高校生活を大切に過ごし、  
たくさん困難にも負けることなく、  
山でそびえる大木のようにしっかりと  
根を張って芯の強い存在になりたい  
と、植樹の体験がそう決意させる良  
い機会になりました。参加できて良  
かったです。有り難うございました。

## 植樹ボランティアに 参加して

2年生 渡辺奏統三

学校行事や親と一緒にボランティア  
をした経験はありましたが、久し

ぶりにボランティアに参加しました。  
初めてのボランティアが、小学校4  
年生の時でその後は参加したことが  
ありません。自ら参加したことは、  
今が初めての経験でした。国際情  
報高校に入学して、寮生活をしながら  
毎日同じような生活の繰り返しで  
した。自然豊かな環境の中で活動し  
てみたいと思っていたので、今回の  
植樹が良い機会になると思い、申し  
込みをしました。

湯沢町は自然が豊かで、特に冬は  
スキーを中心として大変観光客で賑  
わうところと聞いていました。植樹  
の参加者の皆さんの年代は様々で、  
最初はその雰囲気圧倒されました  
が、苗木の植え方など丁寧に指導し  
ていただき、楽しくブナの子ども  
を植えることができました。実際  
の作業は、とても体力を使う重労働  
でした。でも、真剣に一本一本を植  
えて、とても充実感がありました。

その後の、豚汁を大変美味しく  
いただきました。初めての方々との交  
流も充実していました。作業でかい  
た汗を、湯沢温泉で流して疲れも取  
れました。植えた苗木が、スクスク  
と育つことを願いながら、また参加  
したいと思いました。お世話になり  
ました。ありがとうございました。

## 植樹活動を終えて

2年生 初井 悠希

初めての体験の「ブナ」の木を植樹は、初めは少々不安でしたが、終えてみてとても充実した気持ちになりました。

企画運営に携わっている方々の植樹の指導や、何度も参加しているらしいベテランの方々の熱気や雰囲気、早く植えてみたい、と思うようになりました。しかし、いざ植える作業に取りかかると、最初の一本で体力を大分使い疲れました。体力不足を感じながらも、頑張つて5本植えました。

未だ山の斜面で曲がっているブナ



の木も、やがて太陽に向かって真っ直ぐに成長していくと聞き、自然の大きな力を感じました。

今日、自然環境破壊、地球温暖化、大気汚染、各地の紛争やテロ、そうした問題の解決や貢献に繋がればな、とたくさんのことを学べた体験でした。何事も続けることが大事だなと感じ、今後もしこうした活動をしたいと思えます。

## 植樹活動を通して

2年生 田端 佑

初めてのボランティアの参加となったこのブナの木を植樹は、私にとって良い経験となりました。この体験を通して感じたことを述べてみます。

まず一つ目に、自然に対する感じ方の変化がありました。この活動に参加する前は、植樹についての意義を真剣に考えたことがありませんでした。参加してみて、周りで自然破壊が進む中で、重要な活動の一つであることがわかりました。木が存在することで、地球温暖化の原因でもある二酸化炭素を吸収して酸素を生成してくれます。

二つ目に、ボランティア活動に参加する楽しさです。今回の活動は、

友だちからの誘いで参加させていただけました。友だちと協力して活動する楽しさや、自然環境の保全に貢献しているという責任も感じました。ボランティア活動は仲間を誘って参加できる素晴らしい活動があります。

植樹作業は、自分が想像していたものよりはるかに大変な仕事でした。斜面の土を掘り起こしてブナの木を植える穴を掘ることが、大変な作業でした。多くのアドバイスをいただきながら、無事に植えることができました。

人とのつながりを感じることができたこの植樹ボランティアで、自分の経験も植えたブナの木のように成長できたら良いな、と思いました。自然や地域の方々との触れ合いをすることができたことに感謝します。ブナの木の成長を祈りながら、また植樹に参加したいと思いました。お世話になりました。有り難うございました。

## ブナの木植樹のボランティアを通して

2年生 市川 裕 麻

多忙な高校の生活の中で、日々時間が過ぎてゆくのが勿体ない感じがありました。そんな時、教室の黒



板に「植樹ボランティア募集」のプリントが張り出されました。以前から、人のため、自然のために何かボランティア的なことができないものか、と思っていた僕は、友人と共に参加することを決めました。

大人数で参加した方が、作業もはかどり楽しいだろうと思い、寮生たちに声を掛けると、意外にも賛同者がたくさん集まりました。

湯沢駅頭で待ち合わせをして移動し、植樹会場に着くと周りの景色の清々しさはたくさんの方々に驚かせました。一緒にボランティアでできることに喜びを感じました。事務局の方々のお話で、森林保護活動にはたくさんのお金と人力が必要であることを知りました。



## 見返りを求めない

2年生 飯濱和樹

ボランティアとは、社会事業などに参加し無償での奉仕活動である、といわれています。1年生の時、クラス担任がよく話していた言葉があります。

「人のために仕事をするのが、自分にとって幸せだと考えるようにしなさい」と言うことでした。このことは、ボランティアにも通じると思います。まだ高校生と言う中途半端な時期にある自分には、正直よく分かりませんが、最近耳にする世の中のニュースには、あまり良い話しは届いてきません。しかし、人のために何かをすることが難しい社会では駄目なのではないかと考えました。家庭科の授業で学習しましたが、「何を仕事に求めていますか?」と言う問いについての各国の答えが、大体において1位が「給与」でした。以前、母親に「人はお金のために働くのか?」と聞いたことがありましたが、返ってきた言葉が、「お金がないと生きてゆけないよ」と言う返事でした。

ボランティアのイメージは、こうした社会的背景が原因なのかと思

ます。資本主義の本質に、無私の奉仕活動が大切になる所以ではないでしょうか。助け合う世の中こそ、私はボランティア活動の素晴らしさだと信じたいと思いました。今回の「植樹」で、素晴らしい体験ができました。ありがとうございました。

## 植樹会に参加して

新潟市在住 田村知宏

私の毎年恒例になりつつある植樹会に、今年は新潟市から駆け付けけることになった。今年も皆で気持ちよい汗を流した。植樹の後には、おいしい豚汁をごちそうになり、そして駒子の湯につかり、湯沢の自然を満



喫することができた。

いつもと違うのは、新潟市の家に帰ってから、ふと思いついて、再び軍手をはめスコップを握ったことである。家の裏手に雑草が生い茂っている砂地があつて、ここを整備して花などの植物を植えたいと思いついた。せつかく温泉につかってきたところでもあったのだが、「今日やろう!」と再び汗を流しながら砂地を耕し、近くのホームセンターで買ったマリーゴールドなど片隅に植えてみた。荒れていた土地が少しだけ彩られた。

自然とのつき合い方は、いろいろあるだろうが、ちょっとした気持ちの持ち様や工夫の仕方、生活は豊かになる。

午前中の湯沢でのボランティア活動からきつかけをもらい、夕方、新潟市でもちよつとした自然のつき合いの第一歩を踏み出す貴重な一日となった。

## 女王の歓迎

六日町在住 野澤健一郎

山歩きが最大の趣味である。急登を暫く行く。その場に存在する酸素を全て取り込んで足りない錯覚に陥るほどの負荷が我が両肺と心臓に

襲いかかる。

荒くなる呼吸は、その往復する速度を永遠に緩めることは決してないように思われる。

本州中部では、ほぼ標高1,000m〜1,500mまでの地域がブナ林となる。ブナはその雄大で美しい姿から森の女王と呼ばれる。ちょうど疲労がピークを迎えつつある頃、女王はその麗しい全身で、まるで魔法をかけるように一瞬にして私の全ての苦悶を取り去る。そして涼やかな彩で私を迎えてくれる。ふと立ち止まる。どこを見渡しても緑の世界。名も知れぬ花が可憐に咲いている。小鳥が忙しそうにさえずりを繰り返す。女王の歓迎のもてなしをそばでそっと支えている。そして息を吹き返した私は、再びしっかりとした歩を進め始める。

今年、どんな女王にお目にかかれるのだろうか。そう思っただけで、小躍りしたくなる衝動を抑えるのにかなりの労力を要する。

そして、今日もまた急登に行く。

## 樹木たちの会話

六日町在住 高橋 政廣

湯沢町には、生活圏の直ぐ近くにブナ林を堪能できる良いトレッキング

グコースが何箇所もある。

その一つが、八木沢集落から入山して清津川沿いに延びる平坦で歩きやすいコースで、ブナの木々の見事さに癒されながら新緑時と黄葉時には、全身がその季節感に染まってしまふようだ。

もう一つは、GALASキー場のトレッキングコースだ。こちらは、夏のゴンドラ営業中にしかコースに出ることは難しい。が、その営業回数20回程の間に十分にブナ林の素晴らしさやその木々の持つ効果効能を体感ができる。

大ブナの木がある辺りには、かつて炭焼きをした遺構もあり町内の人々が入山した形跡もある。ゲレンデも活用したGALASのトレッキングコースは、スキー場関係者が開拓したブナ林を通過できる一時間ほどのコースだ。

暑い盛りにブナ林に入ると、その空調された山域の空気感は、その安堵感清涼感清潔感が堪らなく良い。ブナの葉の頭上は暑い夏の空気に覆われていても、ブナの林には別世界の清々しさがある。弾力性のあるブナの山径は、全身を安全に受け止め



てもくれる。なにせ、呼吸するその空気に腐葉土から立ち昇る醸成された清浄感ある濃密な空気が、疲労感を瞬く間に恢復させて元気を取り戻せる。無数に輝く緑葉は視覚にも優しく、ブナの木々の立ち姿は爽やかだ。四季折々の自然に恵まれた湯沢町である。ユックリとブナ林を眺めて過ごす時間が、至福の一時となる様な気がする。我々もまた自然の一部でもある。





昨年の植樹祭は、急斜面ですべりやすく、不安定な場所での作業になりました。しかし、懸念された支障もなく、計画どおり植樹ができたのは、小学生たちの注意力和多くの皆様のご協力のおかげです。改めて感謝を申し上げます。

次は小学生の感想文です。

なお、紙面の都合により、一部調整してあります。ご了承ください。

## 植樹祭でブナを2本

### 植えました

岩瀬 秀太郎

ブナの木をななめに植えることがわかりました。木を植えるとき穴をほるのが大変でした。

しよう来、自分が植えたブナの木を見たいです。どれくらいせいちようしているか見たいです。



## 植樹祭で気をつけたこと

日向 奈緒

一つめは、小さな木をふまないようにしたこと。この苗木にやわらかい木の葉をかぶせました。

二つ目は、坂道だからすべり落ちないようにしました。

ななめの地面に木を受けると、その木が大きくなって、なだれをふせます。ぼくは、この木が大きくなったら、ブナの実をとりにいきたいです。

## 植樹祭でわかったこと

井熊 快渥

ブナの苗木をななめに土をかぶせることです。ななめに植えると、雪に上から押さえられ、おれることはありません。

1回目、木がなかなかななめにならなかったけど、2回目から、ちよつとなれてきました。友達にも教えることもできました。楽しかったです。

この植えた木が大きく太くなってから、見にいきたいです。

## 植樹祭にさんかしてみて

南雲 央空大

ぼくは、植樹祭でふしぎに思ったのが一つあります。

それは、木の苗をとんでもない坂に植えることです。ぼくは、たいらな場所だと思っていましたが、その場所を見おどろきました。木は、あんな坂を生きていけるのか、ふしぎに思いました。

ぼくは、自分の植えたブナがいつまでも生きていてほしいです。



## がんばった植樹祭

立柄 なち

ぼくは、植樹祭にさんかして、びつくりしたのは、木を植える穴の数が57人(生徒数)よりも、いっぱいあったことです。

大変だったことは、木を植えるときです。理由は穴よりも木の方が大きかったので、根をおらないよう気をつけたことです。

しよう来、緑いっぱい町になるよ！



## 植樹祭に

### 行けなかつたけど

水落 優心

今回、わたしは植樹祭に行けなかつたけど、みどりの会の方が来てくれたときに、色々とブナの木のことなどがわかりました。

おどろいたことや、はじめて知ったことが、いっぱいあって楽しくなりました。

またきかがあれば、行きたいです。



## 植樹祭にさんかしてみ

富沢 さら

わたしは植樹祭で、すごいと思ったのが二つあります。

一つ目は、ブナの苗が思っていたより大きかったことです。もっと小さいと思っていました。

二つ目は、苗を植えるとき、根のまわりの土にゴミが入らないよう教えてもらいました。大変だったけど気をつけました。

これから、植えたブナが大きくなって、ふえてほしいです。

## 植樹祭についてみて

釧持 暉

ぼくは植樹祭にさんかしました。最初は、あながあいてないと思ったけど、あいていたのでちくでした。

そして、植えるのは浅くするのだと思っていましたが、けっこうふかくて、びっくりしました。

最後に、来年四年生になる人たちにも、ブナの木を大事に植えてもらいたいです。



## 植樹祭にさんかして

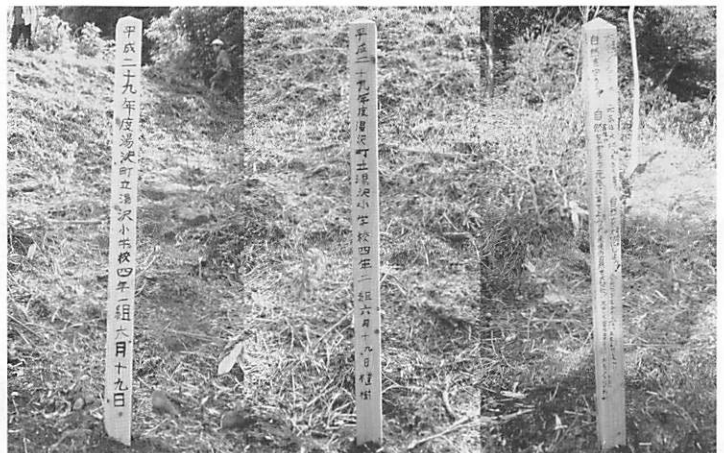
高橋 央鈴

私が、植樹をして分かったのは、ブナの植えかたです。

ブナの木は、まっすぐ植えると思っていました。でも、ななめに植えていたので、すごくふしぎでした。

大人の人にきいたら、雪が坂をすべり落ちるとき、ブナの木は雪の下になつておれないから、とおしえてくれました。

植樹祭は楽しかったので、またやりたいです。



## がんばった植樹祭

岩村 環瑛

わたしが植樹祭で、がんばったことは、二つあります。

それは木にきずをつけずに植えることです。持ち方や植えるのを一回一回ていねいにやりました。土がくつの中に入ったたりしたけど、がんばりました。

わたしは、これからも木を大切にしていきたいと思っています。湯沢町を緑いっぱいになりたいです。



## 植樹祭のふり返り

立山 慧

ぼくは、ブナの木を植えるのがはじめてなので、やり方がわかりませんでした。

でも、みどりの会の人の説明がわかりやすく、楽しく植樹ができました。

ブナの木は、五十年にわたって育ちます。はじめて知ってすごいなあと思いました。大人になったら、大きくなったブナをみたいです。

## 大きくなってね

### ブナの木

小杉 樹愛

わたしは、ブナの木を植えて、ブナの長さや太さ、それに植えかたなどのひみつがよく分かりました。

ブナのえだが、とても細かったので、おどろきました。今、どうなっているのか、長さや太さなどが変わっているか、楽しみです、

またいつか、みんなでたくさん植えて自然をふやしていきたいです。

## 植樹祭

南雲 すず

わたしは、木を2本も植えられたのでよかったです。

それに、お兄さんやおじさんたちが、わたしたちより早く行って植えるためのあなをほってくれて、とてもさぎょうがらくでした。

しょう来は、世界一大きな木になって、それをした人たちが協力して、森がいっぱいになってほしいです。そして、アメンボとか色々な虫たちを、いっぱい見たいです。

## 大変だった植樹祭

高井 琴愛

植樹祭で感じたことは二つあります。

一つは、木の植え方です。雪に負けないように、ななめに植えました。

二つ目は、東京電力さん、東北電力さん、そして、みどりの会のみなさんが、分からないところを教えてくださいました。木がずれないようにするためのアドバイスをしてくれたので、上手に植えられたと思います。

他の木より大きな木に育ってほしいです。

## 植樹祭で知ったこと

蕪木 刀也

ぼくは植樹祭にさんかして、色々なことを知りました。植える前の赤ちゃんブナは3年かかりました。そして大きくなるのに、長い年月をかけてぞだつことがわかりました。

ブナの木を谷側において植えることを教えてもらいました。ななめにあなをあけるのが、むずかしかったです。

植えたブナが大きくなり、湯沢が緑いっぱいになってほしいです。

## 植樹祭でわかったこと

相澤 和

私は植樹祭で、いろいろなことを知りました。

最初に木を植えたとき、木のまわりの土にかねはをのせるのは、かんそうしないためだと知りました。

また、木をななめに植えるのは、雪で木がおれないようにするためと知りました。湯沢らしくくふうだと思えました。

## 植樹祭で分かったこと

牛木 文明

一つ目は、ブナの木をなんで植えるのかなと思ったら、全国の自然をふやすためだそうです。

二つ目は、木をななめに植えました。それは、雪がふってもたおれないからです。

ぼくは、植えた木が早く、太く、元気で育ってほしいです。

## やりたかった植樹

ベルフォード 季永

ぼくは、四年生の授業で植樹祭がありました。植樹とは、穴をほって樹を植えることです。

ぼくは、植樹祭の日は病気で行けなかったです。だけど、友達の間でも楽しかった」という声がたくさんあったので、またこのようなきかいがあれば行きたいです。

## 植樹祭で気をつけたこと

高野 明依

一つは、ブナを植えるときに、木をかたむけないようにしたこと。二つめは、人が植えた木をふまない

ようにしたこと、そして、土を多めにかけたことです。

みどりの会の人は「自然は大切だから、元気になるように植えてね」といつてくれました。

しょう来、植えたブナが元気で長生きしてほしいです。

## 勉強になった植樹祭

片桐 優斗

ぼくは、この植樹祭でブナのひみつや木の植えかたを学びました。

ブナの木の子ちゃん、大人の木とくらべて、とても小さかったです。ブナは、30年かけてようやく大人

になることにおどろきました。植えたブナが、これからいつばな大人の木に育ってほしいです。

## 植樹祭にさんかして

井熊 桜花

私が、植樹祭にさんかして思ったことは、ブナの木を植えるのは、かんたんそうだけど、本当はむずかしいことです。木のむきがきまつていて、そのとおりに植えるよう気をつけました。

しょう来の湯沢の自然が、今回植えたブナの木といっしょになって、自然いっばいの町になってほしいと思います。

また植樹祭にさんかしたいです。

## 植樹祭で

### たすかったこと

南雲 くるは

ブナのなえを植えるのが、いちばんむずかしかったです。そのむずかしいところを、大人の人がつたつてくれて、たすかりました。

植えたブナの赤ちゃんが、はやく大人になってほしいと思いました。



## 植樹祭の感想

岸野 瑠那

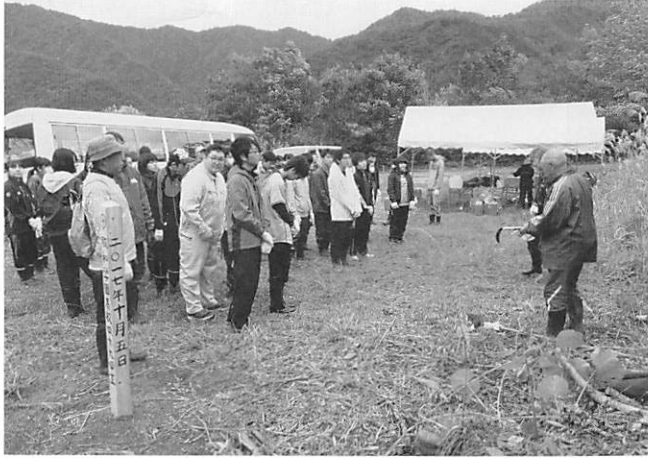
わたしは、植樹をしていろいろなことがわかりました。

植えた木はまだ小さかったけど、そのそばに大きい木がありました。この木のように、大きく元気になるてほしいです。

わたしが大人になったとき、自然がゆたかな町にしたいし、いまよりも自然いっばいの観光地にしたいです。



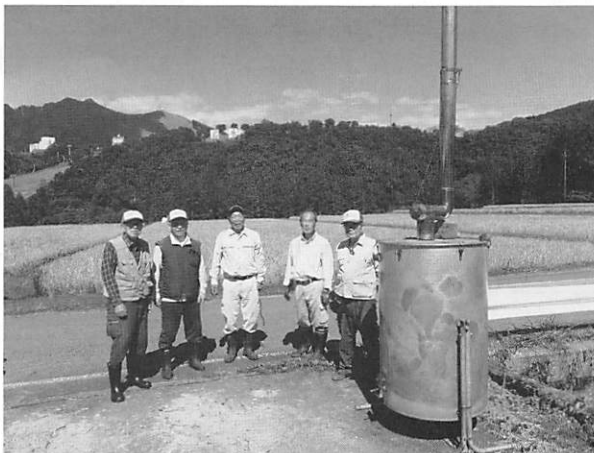
敬和学園高等学校の皆さんがボランティアに訪れてくれました



# 湯沢町のイベントで「湯沢みどりの会」活動をお知らせしています



竹炭焼きやっています



第1号議案 平成29年度事業報告書 (29・4・1~30・3・31)

月	日	曜日	事 項	備 考
4	4	(火)	平成29年度 決算監査・事業計画等役員会	湯沢町公民館
	10	(月)	平成29年度総会・理事会	湯沢町公民館
	29	(土)	「はなまつり・ゆざわ」ブース出店	湯沢カルチャーセンター
5	7	(日)	みどりの会会報誌送付準備	湯沢町公民館
6	2	(金)	植樹場所下見・測量実施	旭原 船木地区
	8	(木)	第2回湯沢みどりの会理事会 植樹関係	湯沢町公民館
	16	(金)	みどり百年物語委員会研修会	新潟市自治会館
	17	(土)	第19回 植樹祭 事前準備	高速下 倉庫~船木 20名
	18	(日)	〃 一般	旭原 船木地区 400本 69名
	19	(月)	〃 小学生	旭原 船木地区 100本 92名
7	14	(金)	第3回湯沢みどりの会理事会 植樹祭について	湯沢町公民館
9	28-29	木-金	収穫祭出品 竹炭の準備 2日間	添名地域で実施 12名
	28	(木)	第4回湯沢みどりの会理事会 敬和・収穫祭等準備	湯沢町公民館
10	4~6	水-金	新潟市 敬和学園高等学校 植樹祭	旭原 200本植樹 (2泊3日) 156名
	15	(日)	「こらっしやいゆざわ 収穫祭」	湯沢カルチャーセンター 8名
11	30	(木)	割りばしリサイクル 北越紀州製紙へ搬送	新潟市工場へ
12	12	(火)	湯沢みどりの会理事会	一二三 (忘年会は参加者負担)
3	14	(水)	事務局会議 第5回湯沢みどりの会理事会	湯沢町公民館

(森林管理署・振興局等の会議等については事務局で対応させていただきます)

第2号議案 平成30年度事業計画書 (30・4・1~31・3・31)

月	日	曜日	事 項	備 考
4	4	(水)	平成30年度 決算監査・役員会	湯沢町公民館
	12	(木)	平成30年度総会・第1回理事会	湯沢町公民館
	29	(日)	「はなまつり・ゆざわ」ブース出店	湯沢カルチャーセンター
5	15	(火)	みどりの会会報誌送付準備 ~ 発送	湯沢町公民館
			植樹場所下見実施	旭原 船木地区
6			第2回湯沢みどりの会理事会 植樹祭事業分担等	湯沢町公民館
			にいがた緑の物語 総会・研修会	新潟市自治会館
	23	(土)	第20回 植樹祭 事前準備	高速下 倉庫~船木
	24	(日)	第20回 植樹祭 一般	旭原 船木地区 苗木 200本
	25	(月)	第20回 植樹祭 小学生 一般	旭原 船木地区 苗木 100本
7		(木)	第3回湯沢みどりの会理事会 植樹反省会	湯沢町公民館
9			第4回湯沢みどりの会理事会 こらっしやい湯沢他	湯沢町公民館
			竹炭 添名裏	収穫祭出品販売
10	14	(日)	「こらっしやいゆざわ 収穫祭」	湯沢カルチャーセンター
			研修事業へ参加期間	
12				
3			第5回湯沢みどりの会理事会 今後の計画等	湯沢町公民館

\* 理事会等はハガキで事前に連絡します。

第22期(平成29年度)

NPO法人 湯沢みどりの会 一般会計決算書

(単位 円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
1、繰越金	2,161	2,161	0	前年度より繰越金
2、会費	369,000	188,000	△ 181,000	区分 会員数 会費 金額
				一般会員 113 @1000以上 147,000
				賛助会員 6 @3000以上 41,000
				計 119 188,000
3、助成金&寄附金	390,000	295,060	△ 94,940	(社)内田エネルギー科学振興財団(コロナ) 250,000
				新潟県緑化推進協議会 0
				沼上豊寄附金 45,060
4、雑収入	839	139,986	139,147	預金利息 0
				前年度南魚沼森林組合過払金返金 108,000
				花まつり炭・苗木販売 収穫祭炭・苗木販売・緑の羽根募金 31,986
合計	762,000	625,207	△ 136,793	

【支出の部】

(単位 円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
1、事業費	564,000	374,766	△ 189,234	①第19回植樹事業費 324,344
				01 プナ苗木購入費(500本) 175,000
				02 植樹地地拵整備事業 54,000
				03 参加者保険料・その他消耗品費 18,634
				04 仮設トイレ経費 48,276
				05 標柱作成・町外者入浴券代・植栽地案内板 11,256
				06 参加交流会とん汁材料等一式 17,178
				②イベント広報関係費 50,422
				ゆざわ花まつり・こらっしやい湯沢参加事業費 47,500
				敬和学園植樹手伝い弁当代 2,922
				事業費計 374,766
2、広報費	96,000	85,624	△ 10,376	広報印刷・配布費等 85,624
				広報費計 85,624
3、負担金	15,000	17,938	2,938	林業改良協会南魚沼支部会費等 4,200
				新潟みどり百年物語会費 10,000
				緑の募金寄附 3,738
負担金計 17,938				
4、研修費	20,000	0	△ 20,000	林業改良協会南魚沼支部研修費 0
				新潟みどり百年物語研修費 0
				研修費計 0
5、通信費	20,000	13,736	△ 6,264	郵送料・配送料・切手代 2,242
				郵便局会費納入手数料・銀行振込料 11,494
				通信費計 13,736
6、会議費	15,000	0	△ 15,000	会議会場借上げ代、その他 0
				0
				会議費計 0
7、事務費	15,000	9,310	△ 5,690	インターネット回線代・ホームページ代等 8,200
				コピー代・事務用消耗品 1,110
				事務費計 9,310
8、交通費	15,000	31,540	16,540	高速代、燃料費・費用弁償他等 31,540
				交通費計 31,540
9、予備費	2,000	0	△ 2,000	
合計	762,000	532,914	△ 229,086	

収入の部合計	-支出の部合計	=繰越金	第四銀行預金	けんしん預金	郵便口座	現金手持ち	繰越内訳合計
625,207	532,914	92,293	91,423	0	870	0	92,293

監査 第22期NPO法人湯沢みどりの会の会計監査の結果、領収書、日計、収支、預金残額について間違いないので報告します。  
平成30年4月4日

会計監査 田村 迪雄 (印) 会計監査 田村 亨 (印)

# 第20回 植樹祭の御案内と参加者募集要綱

## ① 期日・時間

- ・6月24日(日) 一般の方 ・受付 8時～ ・植樹 9時～12時 ・解散 ふれあい昼食後
- ・6月25日(月) 地元小学生 ・受付 13時～ ・植樹 13時30分～15時30分

## ② 場所

- ・湯沢町大字土樽字旭原船木地区 (旭原町内から会場までは案内旗標識有り)
- ・カーナビ ⇒ 旭原 又は 大源太湖 を入力下さい。

## ③ 参加申し込み (・団体名・代表者名及び連絡先・同行者名 を必ず明記ください。)

- ・ハガキ、FAXの場合  
⇒ ハガキ送付先 〒949-6103 湯沢町大字土樽353-2  
⇒ FAX 025-787-4291

共に 湯沢みどりの会 事務局宛

- ・メールの場合 kagaya@abelia.ocn.ne.jp

◎6月19日(木)までに ⇒ 傷害保険加入します。

⇒ 不明のことは TEL 090-8253-0423 南雲まで

## ④ 植樹数 ・6月24日(日) 200本 (山菜・豚汁有) ・6月25日(月) 100本 (飲み物有)

## ⑤ 携行品 ・雨具・手袋・ゴム長靴・飲み物・昼食

## ⑥ その他 ・小雨決行・植樹道具は用意します・駐車場有り・仮設トイレ有り

### 会場案内図



## NPO法人 湯沢みどりの会

〒949-6103 南魚沼郡湯沢町大字土樽353-2  
TEL 025-787-3361 FAX 025-787-3361  
e-mail : kagaya@abelia.ocn.ne.jp  
ホームページ : <http://www.greenyuzawa.org>

**\*会費納入お願い\***  
引き続きご協力をお願い申し上げます。

◎ 一般会員  
100 1,000円以上

◎ 賛助会員  
100 3,000円以上

でございます。同封の振込み用紙にてお願いいたします。尚、納金いただいている等、行き違いの節は御容赦をお願いいたします。

何かの御都合で退会・住所等変更なされたときは、FAXにてご連絡をお願いいたします。